

留 学 報 告 書

記入日:2016年2月16日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学部史学地理学科アジア史専攻
留学先国	中国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 北京大学 現地言語: 北京大学
留学期間	2015年9月～2016年1月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年2月3日
明治大学卒業予定年	2017年3月



留学先大学について			
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他		
学年暦	1 学期:9 月中旬～1 月下旬 2 学期:2 月下旬～6 月中旬		
学生数	約 35,000 人(学部 14,000、修士 13,000、博士 8,000)		
創立年	1898 年		
留学費用項目	現地通貨 (人民元)	円	備考
授業料		円	授業料負担型ではないため、学費は免除
宿舍費	19,040 元	380,800 円	1 日 140 元、支払い時は1元=20 円
食費	2,500 元	50,000 円	食堂における食費のみ
図書費	3,000 元	60,000 円	教科書類は 3,000 元の内 200 元程度です
学用品費	50 元	1,000 円	
教養娯楽費	200 元	4,000 円	博物館や記念館などの入場料
被服費		円	
医療費		円	
保険費	2,667 元	53,340 円	形態:海外旅行保険(47,340) +北京大の保険(300 元=6,000 円)
渡航旅費	4,000 元	80,000 円	行き→30,000 円 帰り→50,000 円
雑費	1,500 元	30,000 円	外食など
その他	2,000 元	40,000 円	旅行費など(交通費別)
合計	34,957 元	699,140 円	一元=20 円で計算しています

渡航関連

渡航経路:行き:東京→大阪→上海→北京

帰り:北京→瀋陽→長春→珲春→ウラジオストク→東海→鳥取→京都→東京

渡航費用

チケットの種類

往路	30,000 円
復路	50,000 円
合計	80,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

東京→大阪、鳥取→京都、京都→東京…夜行バス

大阪→上海…上海フェリー株式会社 <https://www.shanghai-ferry.co.jp>

北京→瀋陽→長春→珲春…中国・高速鉄道

ウラジオストク→東海→鳥取…DBS クルーズフェリー <http://www.dbsferry.com/jp/main/main.asp>

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

留学生寮(勺園 6 号楼)

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 2 人)

3)住居を探した方法:

北京大学からのメール

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

勺園六号楼はやや値が張りますが、環境としては北京大学の中で最高のものです。同宿舍内に日本人もあまりいないため、日本人だけと付き合うという事態を避けやすいです。

【北京大学の留学生寮について】

明治からの協定留学生は自分で寮を手配しなければなりません。留学生が住める寮は「中関新園」、「勺園 6 号楼」、「万柳」の三つがあります。以下それぞれの特徴です。

「勺園6号楼」: 北京大学の斡旋によって応募可能
二人部屋(一つの部屋の中で二部屋に分かれている)140 元/日、一人部屋 240 元/日

「中関新園」: ネット上での応募
二人部屋(一つの部屋に二つベッドが置いてある)100 元/日、一人部屋 130 元/日

「万柳」: 現地に到着後に手続き

「中関新園」「勺園6号楼」と違い、大学から少し離れたところにある 70 元/日、四人一部屋(確実な情報ではない)

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

- 利用する機会が無かった
 利用した: 北京語学大学国際医療部

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

北京大学の留学生事務室

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

ニュースによる情報収集

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学内のインターネットは特に問題なし。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地にて銀行口座を開設。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

特になし

卒業後の進路について

1) 進路

- 就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

自分は就職活動を予定していませんが、留学先で会った日本人の中で、就職活動を予定している人は以下の 4 タイプでした。就職活動があるから留学をやめてしまうのは、もったいないです。

- ① 就職先を決めてからの留学
② 2 年次での留学→就職活動期間と被らない
③ 3 年次での留学(1 学期)→現在の就活スケジュールであれば間に合う
④ 3 年次での留学(1 年)→卒業を 1 年遅らせる

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

中国関係の研究を予定している方には、是非中国に留学してほしいです。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
中国歴史文選 (上)		中国歴史文選(上)
科目設置学部・研究科	歴史系	
履修期間	1 学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式	
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回	
担当教授	王鏗	
授業内容	有名な歴史史料を先生が解説していきながら読んでいく。	
試験・課題など	中間試験→習った 8 つの詩の暗唱 期末試験→古代中国語から現代中国語への翻訳	
感想を自由記入	先生がとても良い人で、非常に楽しかった授業です。本科の留学生向けの授業であるため、受講者は全員留学生。先生もそれを理解しているため、難しいところは簡単な中国語で説明してくれます。受講者は 10 人以下であったため、解説の際学生との対話をしながら進めることができ、飽きることがないです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
中国近現代史練習		中国近現代史練習
科目設置学部・研究科	歴史系	
履修期間	1 学期	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	リユートリアル	
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回	
担当教授	郭卫东	
授業内容	各自が中国近現代史で興味のあるテーマについて調べ、発表	
試験・課題など	中間課題→レポート 3,000 字以上、プレゼンテーション(20 分以上) 期末課題→レポート 5,000 字以上	
感想を自由記入	自分の興味のあるテーマについて時間をかけてレポートを書くことができました。同じ分野を専攻する中国の学生と知り合えたことも良かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
中国近代思想史		中国近代思想史	
科目設置学部・研究科	歴史系		
履修期間	1 学期間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回		
担当教授	欧阳哲生		
授業内容	中国近代の思想家の思想を概観する。 嚴復、康有為、孫中山、蔡元培などに触れた		
試験・課題など	中間課題→レポート 2,000 字以上、任意でレポート内容を授業時間を使って発表できる 期末試験→持ち込み可		
感想を自由記入	自分が最も学びたい部分の授業であったため、非常に勉強になりました。 レポート発表にも挑戦したことが良い経験となりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
中国近代史		中国近代史	
科目設置学部・研究科	歴史系		
履修期間	1 学期間		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回		
担当教授	尚小明		
授業内容	1840 年から 1919 年までの中国史についての授業		
試験・課題など	中間課題→1895 年から 1949 年までに出版された、1840 年～1949 年の間に起きた歴史的事件に関する書籍及び論文を 200 以上リストアップする。原則として中日、中英、中仏、中独、中米、中露などの国際関係のうち一つを選択し、それに関するもののみしかリストアップしてはならない。 期末試験→持ち込み不可		
感想を自由記入	中国近代史を専攻しているため、非常に興味深い授業でした。ただ基本的に 1, 2 年次の学生の授業であったため、内容がやや簡単でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
中国現代文学		中国現代文学	
科目設置学部・研究科	中文系		
履修期間	1 学期間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が 回		
担当教授	高远东		
授業内容	1915 年頃の五四新文化運動から 1930 年代頃までの、中国現代文学の発展についての授業。本科の留学生向けの授業		
試験・課題など	中間課題→魯迅の『阿 Q 正伝』についてのレポート 2,000 字以上 期末試験→持ち込み不可		
感想を自由記入	歴史系の授業ではなかったですが、近代の文学について扱われるため、受講しました。先生が魯迅を専門としていたため、魯迅に関する回が印象的でした。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	出願(10月) 面接(12月) 学内選考結果通知(12月)
2015年 1月～3月	期末試験勉強(1月) 自分の専門の勉強(2月、3月)
4月～7月	北京大学からの入学許可書到着(6月) ビザや海外旅行保険の申請、チケットの手配、試験勉強(7月)
8月～9月	北京大学到着(9月4日) 留学生関係の申請(9月5日)
10月～12月	中間課題(11月下旬～12月中旬)
2016年 1月～3月	試験期間(1月1日～1月17日) 帰国(2月3日)
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	留学をしようと決めたのは、2年生の4月です。明治大学に入学する前までの人生を殆ど中国で暮らしてきたので、入学当初は学部生の4年間は日本で学生生活を送りたいと考えていました。しかし自らの専門としていた中国近代史の学習を深めていくにつれ、中国で中国史を学んでみたいという欲求が強くなっていきました。現地で学習すれば、より高い効果が得られるであろうと考えたのです。そしてその時点で中国留学に必要な試験であるHSKの最高級を取得済みであり、GPAも3.7以上あったため、協定校留学の出願のための条件をクリアしていました。こういった経緯から自分の思いに従い、自らの専門を深めるため、留学に踏み切った次第です。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学の目的が専門の勉強の深化であったため、留学前もできるだけ専門を深められるよう勉強しました。また中国語の文献にも慣れておくために、中国の文学や専門書などにも目を通しておきました。 留学中に感じた不足は、日本近代史への知識不足でした。今まで中国の近代やヨーロッパの近代に意識が向いており、日本の近代にあまり注意を払っていませんでした。しかし留学中勉強していくにつれ、中国近代史における日本近代史の影響が予想以上に大きいことに気づきました。この点を重要視できていなかったことが、留学前の学習、というよりも今までの学習に対しての反省点です。
この留学先を選んだ理由	北京大学を選んだ理由は、一つに「北京」にある大学だったこと、一つに中国トップレベルの大学であったことです。前者についてはまず「北京」は古くより政治の都市であったため歴史を肌で感じることができることに特別さを感じました。また以前自分が住んでいた地域は江南という中国で言えば南方であったため、北方の地域で生活してみたいという理由もあります。後者は留学するならばトップクラスの大学に行きたいという意識の表れです。優秀な大学には優秀な学生も集まるため、自分にとって良い刺激になるだろうと考えた次第です。
大学・学生の雰囲気	北京大学は文学、哲学、史学、数学などの基礎学問を重視する伝統があるらしく、実学に染まりきらないという意志が教員や学生から感じられました。ただその一方で、日本で言えば経営学部の立ち位置にある学部が学内で最も予算を得ている現実もあり、伝統と時代の潮流の狭間にいる感覚を味わえました。 課題については北京大学に限った話ではありませんが、日本の大学よりも多いため、中間試験が始まりだす11月中旬頃からは多くの学生は学内に缶詰状態でした(ほとんどの学生は学内の寮に住んでいます)。アルバイトも高くても時給が200円程度なので、アルバイトをしている学生はほほいしません。
寮の雰囲気	僕が住んでいたのは造られて間もない寮であったため、内装や設備が非常に綺麗でした。居住者は主に英語のプログラムで留学に来ている欧米系の留学生で、英語を使う良い機会にもなりました。また学内の食堂や図書館へのアクセスが良く、管理人の方たちも良い方ばかりでした。寮費は他の留学生寮と比べて高めですが、値段に見合うほどの価値はあります。
交友関係	色々な国の友人ができました。元々友達作りは得意なので、留学生の集まりや授業などで自分と気の合いそうな人に声をかけていきました。そして留学生であれば北京市内の観光スポットめぐりに誘い、中国人学生であれば学内でたまに食事をするなどして親交を深めていきました。親交が深まればその友人の友人と会う機会も出てくるため、そこから新たな交流も生まれていきました。1学期間だけの留学でしたが、皆中国や他の国に行った時に再会したくなるような良い友達です。
困ったこと、大変だったこと	北京の大気汚染が体に堪えませんでした。9月10月はそれほど悪くはなかったのですが、11月12月は一週間の半分が大気汚染で北京中が真っ白になるという状況でした。極力外には出ないようにし、出るときはPM2.5用のマスクを付けるか、一般のマスクを三重にして使っていました。
学習内容・勉強について	日本では中国近代史を専攻しており、留学先でも関連する授業を受講しました。ほとんどの授業は大人数授業だったのですが、一つだけゼミ形式の授業があり、そこでは自分の興味のあるテーマを一つ設定してそれについてプレゼン、レポートを書くものでした。適当にやってくる学生は一人もおらず、皆十分に史料や論文を調べた上で自らのテーマに臨んでいたため、非常に身が引き締まる思いでした。また何人かの教授とは仲良くなることもでき、研究生活に対してのアドバイスなどを頂くことができました。

課題・試験について	課題量は明治大学に比べるとやはり多いです。ただ、僕自身必要単位は14単位だけであり、その分授業の数も減ったため、過度に課題に追われるようなことはありませんでした。むしろ一つ一つの課題に時間をかけることが可能となり、書物の読解や文章の作成にこだわることでできたため、中国語の能力も向上しました。ただ語学的な難点もあり、完璧に満足のものを書き上げることはできませんでした。今後解決していきべき問題として挙げられます。
大学外の活動について	大学外の活動としては、定期的に行われる日本人学術交流会や明治大学校友会の北京支部の活動に何度か参加させていただきました。様々な分野で北京にて活躍されている方々のお話を聞いたことは、非常に良い経験となりました。また自分はキリスト教徒ではないのですが、毎週日曜日に開かれる、教徒の学生の討論会に参加していました。色々な背景をもった学生と仲良くなり、今まであまり知ることのできなかったキリスト教徒の世界について知ることができました。
留学を志す人へ	留学は予想している以上に楽しいものです。準備中は煩わしさを感じて諦めなくなる気持ちになるかもしれませんが、その煩わしさがより留学を満足のいくものにしてくれます。自分が何を目的として留学に行くのか、常に自分に問い続けながら留学に向かっていきましょう！ また現在は留学するつもりがない人も、半年後、1年後急に行きたくなくなるかもしれません。その時に出願条件が満たないから諦めるという状況に陥らないためにも、GPAを上げることや語学試験を受けておくなどの準備をしておくといいでしょう。結果的に留学に行こうという気持ちが起こらなくても、その過程で得た能力は今後生きていく上で必ず役に立つと思います

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	自由時間・自習	授業(一コマ)	自由時間・自習	授業(一コマ)			
					授業(一コマ)		
午後	授業(一コマ)	授業(一コマ)	授業(一コマ)	北京市内めぐり	自習	自習	外出 or 自習
	自習	自習	自習	北京市内めぐり	自習	自習	外出 or 自習
夕刻	自習	友人と食事	自習	友人と食事	友人とテニス	自習	外出 or 自習
夜	自由時間	授業(一コマ)	自由時間	自由時間	寮の仲間と飲み会	自由時間	討論会